

のり海況速報 第7報 (28-7)

平成28年12月22日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 12/19：内湾(ふさなみ)、12/20：内房北部(ふさなみ)
 関東・東海海況速報(12/19-21)、東京湾口海況図(12/19-21)
 自動観測ブイデータ(12/19-20)
 モニタリングポスト(12/19：国交省関東地方整備局)

【水温・塩分の状況】

- ・内湾の表層水温は前回(12/2)より約2°C降下し、12~14°C台です。塩分は羽田沖でやや低いが、ほかはおおむね30~32台で、平年よりやや高くなっています。
- ・内房北部の表層水温もやや下がり、15°C台です。塩分は33台前半です(図1)。
- ・内湾の調査ラインの水温・塩分の鉛直分布では、水温・塩分とも表層から水深20mまでほぼ一様に分布しています(図2)。
- ・東京湾口への沖合水の流入は継続しており、金谷・久里浜間の水温が昨日から1°C上昇し、水温18°C台の水塊が波及しているため、注意が必要です。

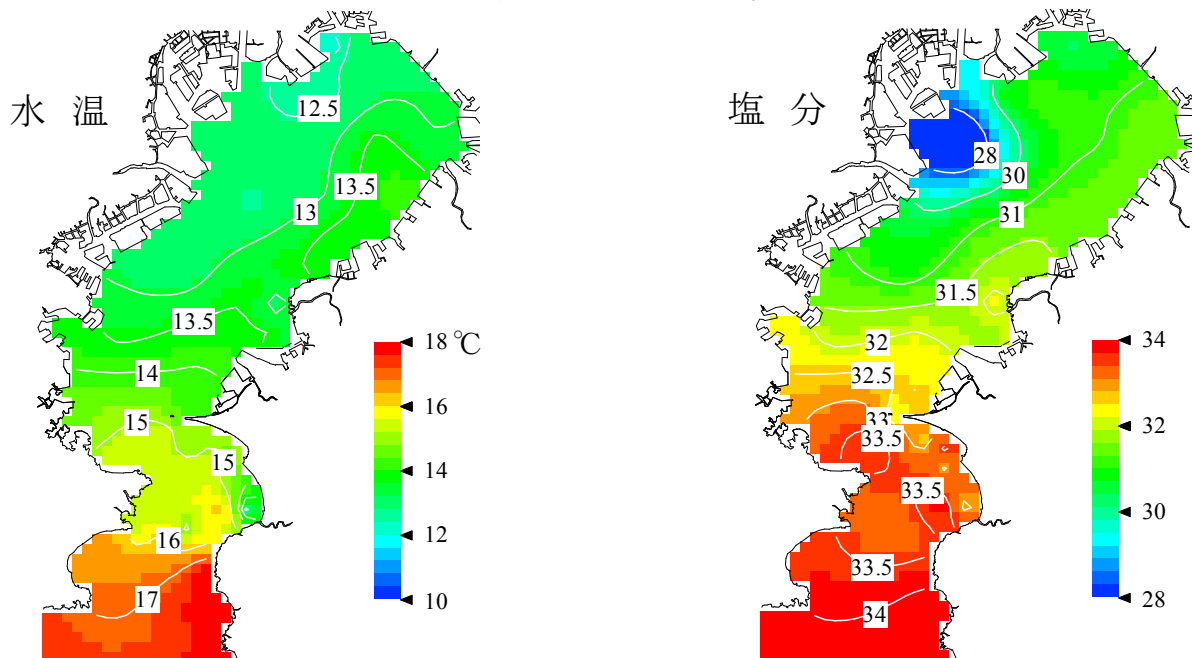


図1 表層の水温・塩分の分布(平成28年12月19-20日)

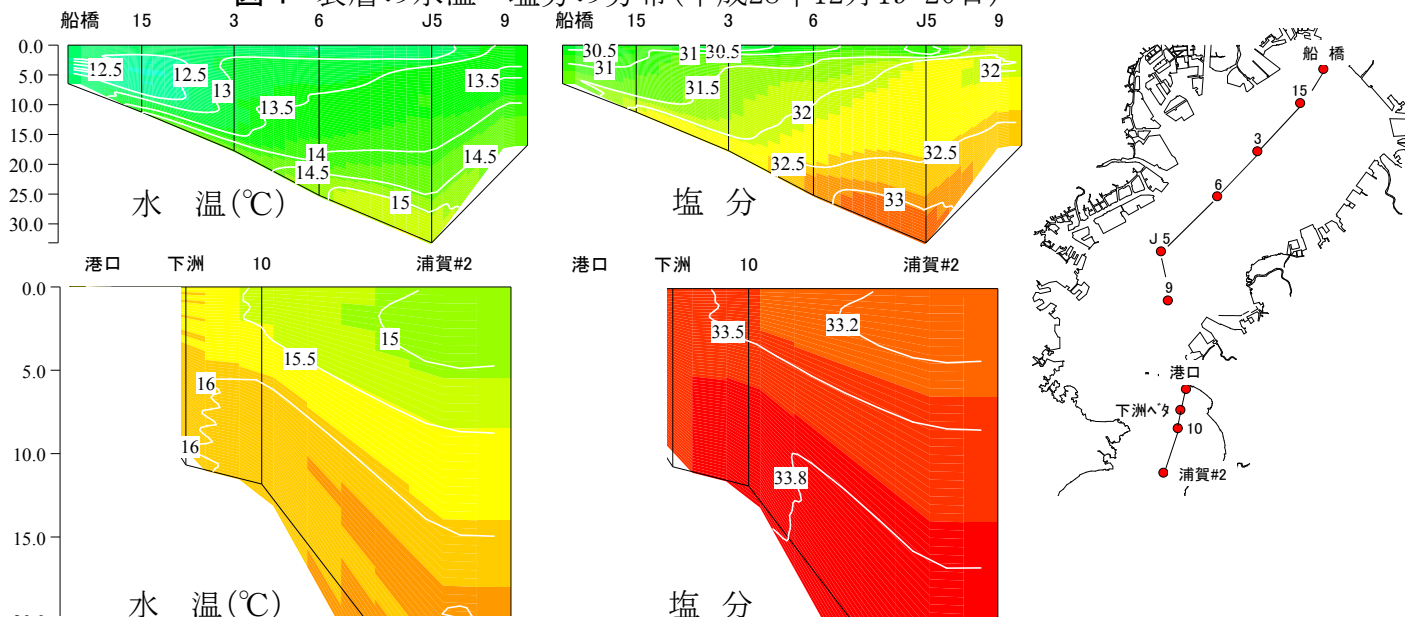


図2 調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(平成28年12月19-20日)
 (上：内湾、下：内房北部、右：調査ライン)

【赤潮・栄養塩の状況】

- ・赤潮は全域で発生していませんでした。
- ・プランクトン量は少なく、ケイ藻のタラシオシラがやや多くみられる程度でした。透明度は内湾北部海域でやや低いところがみられましたが、おおむね4m以上あり、水色もほぼ黄緑色でした。
- ・表層の栄養塩はリン(DIP)が前回(12/2)に比べて少なくなっていますが、現状ではのり養殖にとって問題ない濃度です(図3)。

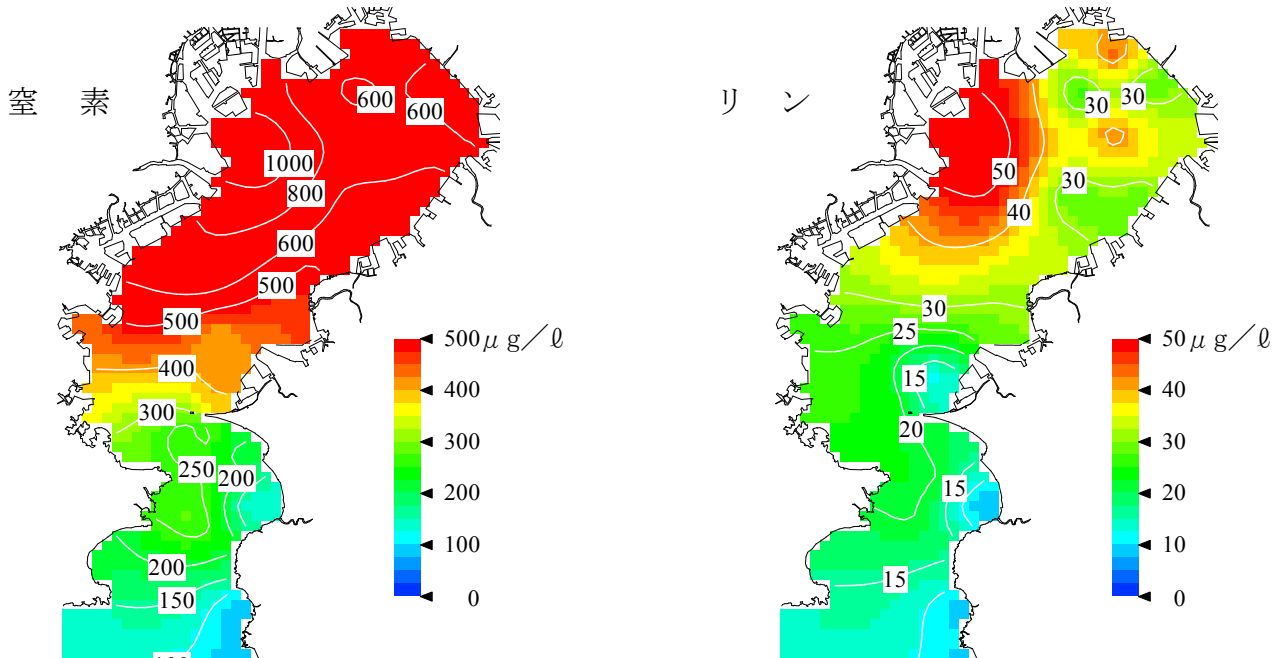


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成28年12月19-20日)

川養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各川養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報します。パソコンまたは携帯の検索サイトで”川養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン：http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯：http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html